



# AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行・横浜スペイン協会事務局 鎌倉市大船 1709-18 FAX 0467-44-5876

## 新年おめでとうございます

皆さまそれぞれが良き日を迎えられたこととお喜び申し上げます。

横浜スペイン協会は、新しい年のスタートとして1月22日のスペイン大使館オーディトリウムでの、創立25周年記念コンサートから、今年度の催しが始まります。

昨年4月のサルスエラ「ロンダに咲いた桜」、9月の「レオン州 桜植樹」同じく9月に開催した「私たちのスペイン展」と3つの記念イベントを行いました。今回のコンサートが記念催しの最後となります。

今年はまた協会理事の改選の年でもあります。協会の会員数も高齢者の退会数を上回って新たな会員の入会もあり増えてきております。それに合わせて、お世話役の理事のメンバーも新しい方々に加わってほしいと考えております。協会のスペイン語教室の運営も順調に推移し、スペイン語ネイティブの講師をお招きしての文化講座も定期的で開催し、またスペイン料理を作って味わうプログラムも大人気となっております。全国のスペイン協会とも、会報を送付し合い、国内各地のスペインに関係する団体の活動を知ることによって刺激にもなり、各地で活発に活動されていることを知ることにもなっております。皆様のご健勝を祈念し、引き続きご支援の程お願い申し上げます。

横浜スペイン協会会長 山崎宗城

### 2016年 横浜スペイン協会 活動計画

### ※創立25周年記念行事

	事務局	スペイン語教室	スペイン・サロン	スペインサークル	会報
1月	※スペイン大使館でのピアノとワインの夕べ (1/22)			<b>*旅でスペインを識ろう会</b> 毎月第2月曜日	新年号
2月	新年親睦パーティー (2/6)	特別講義		(8月はお休み)	
3月		クラス委員会	マドリッド音頭 (3/5)	<b>*スペイン語でボランティア (CLUB 2020)</b> 毎月第1火曜日	春号
4月	大使館観桜会(予定)	前期講座 開始	ワイン講座		
5月	定時総会			<b>*DonQuijoteを読むクラス (VENTANA)</b> 毎月第4水曜日	夏号
6月					
7月		特別講義/クラス委員会		<b>*“ORIGAMI”</b> 毎月第3水曜日	
8月		夏期特別講義			
9月					
10月		後期講座 開始	チーズ講座		秋号
11月			スペイン料理		
12月					

## ●スペイン語クラス

### 「新聞雑誌を読むクラス」の特別授業

「新聞、雑誌をスペイン語で読むクラス」主催の特別授業が10月24日（土曜日）に波止場会館のシーサイドラウンジ Sala で開催されました。講師にはキューバ出身の Cabrales 氏をお迎えし、「キューバ音楽の歴史」について素晴らしい歌やギター演奏交えながらお話頂きました。「特別授業」には、多くの方がご参加いただき進行をご担当下さった栗山由美子講師の巧みなリードによって引き出されるエンターテイナーとしての Cabrales 氏の素晴らしさに会場の皆さんは、魅了されたようです。この特別授業の実現には栗山講師の多大なるご努力とご準備を頂いたおかげで参加者の皆さんはキューバ音楽を聞くと同時に、キューバ音楽の歴史を知りその魅力に触れることができました。（福長昭代）

### 「キューバ音楽の歴史」の特別授業に参加して

キューバ音楽といえば、チャチャチャとかルンバくらいしか知らずその歴史も何ひとつ知らずに参加した講演会でしたが、栗山先生の見事なプレゼンとこれまた素晴らしい綿密な資料のお陰で、思わず、ああそうだったのか、と納得のゆくお話を聞くことができました。色々な楽器の写真があり、メキシコ滞在の時のことや、スペイン旅行の際のことなど懐かしく思い出しました。



キューバ人講師カブラレスさんのご説明で、その時点でのリズムを死守しようとするとうと発展しない、どのようにでも自由な演奏を認めて行くことで音楽はどこまでも広がる・・みたいなことを言われていたのが印象的でした。また、このような講演会はクラスの枠を離れ、その後のランチでの語らいなども平素のクラス学習活動に投げられた一陣の旋風のように感じられ、爽やかな体験でした。講師の説明で色々な音楽用語が出てきてその度に手元の電子辞書にあたり、ああこう言う時はスペイン語でこう言うのか、と新たな発見も多々あり、色々とお楽しめたひと時でした。



（新聞、雑誌をスペイン語で読むクラス 高橋陽子）

### ◀ お知らせ 乞うご期待!! ▶

Cabrales 氏の歌と演奏を心ゆくまで聞いてみたい、とのご要望にお応えして  
2016年2月6日（土）の「横浜スペイン協会新春親睦会」でたっぷり氏の歌声をご披露して頂く  
ショー・タイムを設けました。  
皆様のご参加をお待ちいたします♪♪（詳細はHPに掲載します）

## ●スペイン・サロン

<スペイン料理を作って食べる会に参加して>

2015. 11. 28 於横浜技能文化会館

大人の料理教室に参加した私には全てが驚きの連続でした。私たちE班のメンバーは、男性3名、女性3名（このうちカップルが1組）の6名。この3名の厨房男子のおかげで、私はほとんど何もすることもなく、おいしいバスクの家庭料理を食べることができたのですから、それはもう最高でした。この3名はそれぞれが、さもなんでも心得ているかのように野菜や肉を切り始めます。それも和気あいあい、話をしながらです。その間に、若い二人が丸山先生のお話をきちんと聞いて、お料理の作り方を正確に伝えます。そして25年間協会で活躍されている女性が細やかなサポートをするのです。時折、笑顔のチャーミングな丸山先生と理事の真木さんがテーブルを回り、色々とアドバイスをくださるという具合です。こうして誰かがリーダーシップを取るわけでもないのに、この驚くべきチームワークと手順のよさで料理が出来上がっていく様子は、私の想像をはるかに超えるものでした。私はもっぱら洗い物係に徹しました。

そうこうするうちにお料理5品ができあがり、隣室のテーブルに5班分、25名のお料理が並んだ様は圧巻でした。5品とは、赤ピーマンとオイルサーディンのカナッペ、豚肉のスパイス焼き、タラのグリーンソース、アサリご飯、ポルポロン。バスクの家庭料理は沿岸部の魚介料理と内陸部の野菜や肉料理を中心としたもので、なぜか昔懐かしい温かみを感じました。作りたてのおいしい料理とワイン、そして参加した人たちのお人柄に酔い痴れながら、楽しい幸せな時間があっという間に過ぎていきました。丸山先生そして理事の皆様ありがとうございました。



また、当日の参加者の中にはインターネット申し込みで、静岡の裾野市からお見えになった方がいらっしゃいました。こういう形で協会の輪が広がるのをとてもうれしく思いました。私は一期一会の思いを込め、またお目にかかれますようにと、周りの方々にお声をかけ、料理会場を後にしました。（服部君江）

\* 丸山久美先生からスペイン料理をもっと教わりたい方は…

1月からT-SITE 湘南料理塾（湘南蔦屋）にて、月に一度の1年間、スペインの郷土・家庭料理を教えてください。内容は盛りだくさん。お近くの方、いかがですか？

詳しくは <http://real.tsite.jp/shonan/cooking/2016tanka/index.html>



## ●シネマ・サロン

今回はバルセロナ出身の女性監督・イザベル・コイシェ (Isabel Coixet) の映画について書いてみます。

2003年日本公開の「死ぬまでにしたい10のこと」で初めて彼女の作品に出会いました。巨匠・ペドロ・アルモドバルに高く評価されている—と云うことでしたが、その内容は彼の作品群のそれとは明らかに異なるものでした。がんに侵されて残りの人生がわずかという23歳の女性の決意を静かに描いていました。その後、「あなたになら言える秘密のこと— (2005年・スペインのアカデミー賞といわれるゴヤ賞を受賞)」、「パリ・ジュテーム」、「エレジー」、「ナイト・トーキョー・デイ」—菊池凜子主演—と続き、今秋には「しあわせへのまわり道 (Learning to drive)」が公開されました。ニューヨークを舞台に、長年連れ添った夫がタクシーの中で別れ話を切り出し、大喧嘩になる。夫は去り、一人家に戻った主人公は乗ってきたタクシーの屋根に「運転を教える」という宣伝を見て、まず新しい人生の第一歩として運転を習うことにする。シーク教徒故に迫害され、亡命せざるを得なかった元大学教授のタクシー運転手は、路上で自分のタクシーを使ってレッスンを始める。彼の冷静で確実な教え方から、主人公は自分の人生の運転の仕方を獲得していく。女性ならではの優しい視線が貫かれています。イザベル・コイシェは1960年生まれの55歳。バルセロナ大学で歴史を学び、ジャーナリストとして働いた後映画監督に転身。主に英語圏の俳優を使うことが多いようです。「しあわせへのまわり道」の原作も、「ニューヨーカー」誌掲載のエッセーから。この長い伝統のある文芸誌には村上春樹の短編小説「TVピープル」が英訳され初めて掲載されて(1990年)好評を得、そのことが、彼の作品が世界へ広まり今では40か国語以上に翻訳されるというきっかけになりました。(松本益代)



### \* <スペイン料理を作って食べる会>でおなじみ、丸山久美先生のお勧め 『創造と神秘のサグラダ・ファミリア』

このほど、はじめてプレス試写会経験をいたしました。わたしのコメントをアドバイズメントにとのオファーをいただいたのです。

『創造と神秘のサグラダ・ファミリア』というアップリンクさん配給のドキュメンタリー映画。スイスのステファン・ハウプト監督によるスイス映画です。ラテンではない、カトリックではない国がどういう視点を持ち作ったかというのは、それだけでも興味深いではないですか。

この映画、誕生から破壊、挫折、そして現在、未来へとサグラダ・ファミリアの「人生」を見ているようでした。それぞれの人たちがそれぞれの思いで息を吹き込み、歩み続けるサグラダ・ファミリア。わたしたちもまた一緒に歩んでいるような気がして、未来への浪漫を感じずにはいられないのです。この監督、映画の中でわたしたちにもいろいろなことを問いかけてきます。それで、一瞬、自分の人生にまで置きかえてしまう。というのは申し訳ないのですがね・・・だって本当にサグラダ・ファミリアさんは偉大なのですから。

この映画のおかげで今度バルセロナでサグラダ・ファミリアを見るときにはまた違った気持ちで向かい合う予感です。(スペイン料理研究家・料理家 丸山久美)



## ●スペイン語でボランティア「CLUB2020」

東京オリンピックまであと5年!! 訪れるスペイン語圏の人々をスペイン語で「お・も・て・な・し」してみませんか? そのような興味をお持ちの方たちがオリンピックに向けて『生きたスペイン語』を学ぶサークルです。前半60分はスペイン語で書かれた日本の文化の紹介文を読み、皆さんと様々な知識を交換しています。後半60分はロールカードなどを使いグループでの会話練習をしています。旅行にも役立つシーンが沢山ありますので、ご興味のある方は是非ご参加下さい。(講師: 山田るり子)

開催日: 毎月第1火曜日  
時間: 10:30~12:30  
場所: かながわ県民センター  
参加費: 1,500円/回  
参加資格: スペイン語で簡単な会話ができる方  
日本文化に興味のある方



サークルのお問い合わせ先 [info@yokohama-spain.jp](mailto:info@yokohama-spain.jp)

## ●旅でスペインを識ろう会

2015年10月19日 スピーカー 山田るり子先生

10月19日(月)の頭書の会は、日本人がスペインを旅した印象を報告するいつもの会とは逆で、スペイン人の4人家族が夏に来日し3週間旅行をした報告「スペイン人一家と過ごす日本の夏休み3週間」でした。スピーカーは友人のこの家族と一緒にずっと行動し、面倒を見ていたスペイン協会の先生で人気の高い山田るり子さんでした。

先生は東京、横浜、京都、奈良、名古屋、飛騨、など日本の観光地を7月29日より8月19日までと一緒に旅行されたとのことで、宿泊先は先方の希望もあり主としてキッチン付きのアパートメントタイプのホテルとし、2泊は山田先生宅にもお泊めになったとのことでした。この家族にとって初めての日本はすべてが興味深かった様で、建物の中に入る時の靴の着脱に最初はだいぶ戸惑い手間がかかったり、また9歳と5歳の二人の男の子の対策や面倒見が大変だったとのことでした。昼食は12時ではなく1時過ぎてから食べたいなど、スペインと違う食事時間にもだいぶ戸惑って

いたようでした。また関西では多数のスペイン人観光客に会い、彼らの日本へのオドロキの印象は

- ①礼儀正しさ ②公共の場の清潔さ、トイレの数と清潔さ
- ③水・緑の豊富さ ④蒸し暑さ ⑤英語が通じない

だった由です。いつもの日本人の見方と違い、180度視点が変わったスペイン人の日本への見方のお話で楽しく参考になる会でした。(幸島雄一郎)



## ●スペイン便り

日本人が富士山に抱く憧れのようなものをグラナダの人々はシエラネバダにもっています。夏でも山頂に雪を抱くシエラネバダの豊富で美味しい水がグラナダの沃土やアルハンブラ宮殿の美しい噴水を作っているのです。グラナダ近郊のランハロンの水は、フランスの名水ヴォルヴィックの柔らかさに近いですが、さらにすっきりとした味わいで非常に美味です。またランハロンは腰痛からアトピー、美肌に効用があり昔から湯治客に人気。いつか是非ゆっくり行きたいなあと思います。

グラナダ近郊にアメリカのグランドキャニオンみたいなどころがあるとスペイン人に聞き、連れていってもらいました。この辺りの自然は非常に変化に富んでいます。車でひとカーブするたびに白い岩山が松の茂る山に、その先は赤茶けた山肌を見せる山だったり、だんだん高度をあげて北イタリアのような森林地帯になったり、そして急に湖が出現したり…大自然の雄大な芸術作品が次々と現れて本当に飽きない！みなさん、いつかこちらへいらしたらレンタカーをしてドライブをなさってみてください。本当におすすめです。そうやってグラナダから東へ



ゆっくりドライブを進めること約 60 キロ。グアディクス・プルジェーナという村につきます。圧巻！こんなに素晴らしい景観なのに人っ子一人いないこと。そして背筋も凍る絶壁には柵がほと

んどついていないこと、自然を一人っきりで享受できる贅沢でした。この村は粘土質の山を掘って民家があります。地中は、夏は涼しく冬は暖かい。粘土だから水漏れもないそうです。お家のなかは通気性も考えてつくられていて快適。家族が増えたら部屋を掘り続ければ良いのだということで、不動産屋さんはどう処理しているのか非常に気になりました。(西澤安澄)



## ¡Éste éste éste!

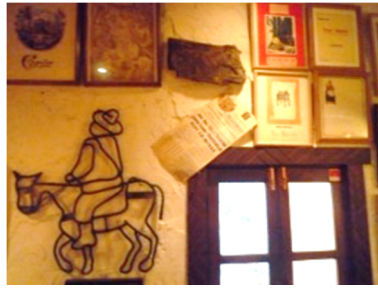
賛助会員ご紹介のコーナーです

### 「カサ・デ・フジモリ」こだわりの料理とインテリア

関内南口から横浜市役所の横を抜けたところから始まるベイスターズ通りを 50mほど進んだ右手にあるのがスペイン料理店「カサ・デ・フジモリ」です。スペイン国旗とスペイン瓦(250年前のものだそうです)を使った可愛いひさしが目印です。お店の創業は1970年、この地に移ったのは1972年札幌オリンピックの年でした。お店に入ると、壁面など店内のいたるところにスペイン民芸品が飾られています。すべてオーナーの大森さんが自らスペインの各地を巡り蚤の市などで収集したものだそうです。右の玄関扉は200年前に作られた貴重なものです。カステージャ地方の食器棚と壺(写真次頁左)や各地で集めたメニュー(写真次頁右)などに囲まれ、すっかりスペイン旅情に。







お店のコンセプトはスペイン各地の料理と文化を紹介することで、当協会と共通するものがあります。料理はスペイン各地の代表的で日本人の舌に合う料理を選び提供しています。通常のメニューに加え、年4回期間限定で、スペイン美食紀行と題し食材や地方を特集した特別メニューが用意されます。最近の企画は「歴史街道 ナバーラとリオハの料理を楽しむ」と題し、「洋野菜とザリガニの卵とじ リオハ風」「ニジマスと生ハムのソテー ナバーラ風」「タパス盛り合わせ：ナバーラ産太アスパラガス、ナバーラ産チーズ・イデアサバルなど」といった料理に加え、ナバーラのロゼワインやこけもものリキュール Pacharan が用意されていました。毎回オーナーがシェフと相談して決めるそうです。次回の企画が楽しみです。（取材/臼井慎一）



別メニューが用意されます。最近の企画は「歴史街道 ナバーラとリオハの料理を楽しむ」と題し、「洋野菜とザリガニの卵とじ リオハ風」「ニジマスと生ハムのソテー ナバーラ風」「タパス盛り合わせ：ナバーラ産太アスパラガス、ナバーラ産チーズ・イデアサバルなど」といった料理に加え、ナバーラのロゼワインやこけもものリキュール Pacharan が用意されていました。毎回オーナーがシェフと相談して決めるそうです。次回の企画が楽しみです。（取材/臼井慎一）

### 《Un poco información》

通常メニューには魚介類煮込みサルスエラ風 Zarzuela de marisco がありました。サルスエラ歌劇のように賑やかな魚介類のシチューだそうで、サルスエラ愛好家には外せないメニューです。お試しあれ。もちろん横浜スペイン協会会員には特典あります。

<http://casa-de-fujimori.co.jp/index.shtml>

### \*\*\*\*\*事務局からのお知らせ\*\*\*\*\*

AIYES 通信 75 号でお知らせしました、横浜スペイン協会創立 25 周年記念最終イベントのスペイン大使館で開催するスペイン音楽コンサートの日時が正式に決定いたしましたので皆さまにご連絡いたします。「スペイン大使館でのピアノとワインの夕べ」と称した当協会会員の西澤安澄氏によるピアノコンサートと終了後にワインとピンチョスでプチレセプションを楽しんでいただきます。

なお、恒例の「新春親睦パーティー」も今年 2 月 6 日（土）に開催を決定致しました。歌あり余興ありで皆様が十分楽しんでいただける趣向をご用意いたしました。ぜひ協会員の積極的な出席をお待ちしております。「ピアノコンサート」、「新春親睦パーティー」に参加ご希望の方は詳しくは今号同封のチラシをご覧ください。

### \*\*\*\*\* 新会員紹介 \*\*\*\*\*

田邊秀子 (Hideko Tanabe) 東京都品川区在住 2016 年 1 月入会

スペインは淡い憧れの地でしたが下山さんご夫妻から、さくら植樹・友好親善訪問時のお写真とお話を伺ってから、訪れてみたい夢の地になりました。もっとスペインを知りたいです。どうぞ、皆様のスペインも教えてください。よろしくお願い致します。

## 星野伸行 (Nobuyuki Hoshino) 横浜市栄区在住 2016年1月入会

知人にサラマンカ大学に留学(私と違い優秀な方)した人がいて、スペインはいいよと言ってくれ、その人に連れられて行ってからやみつきになりました。

元々サッカーが好きでしたので、レアルマドリッドやFCバルセロナの試合を観に行くようになりスペインにはまりました。食べ物や行動も日本人に近いような感じを受け他のヨーロッパ諸国より親しみを受けました。今回、真木理事のご紹介でこの会に参加しました。私だけがスペインに恋しているのではなく、こんなにたくさんのお仲間がいるということにうれしく思います。今後ともよろしくお願ひいたします。

## 岡野光美 (Terumi Okano) 横浜市港北区在住 2016年1月入会

スペインに興味がありスペイン語を勉強し始めました。4年前にはグラナダに1ヶ月滞在して新しい世界が広がり、ますますスペインが好きになりました。サルスエラやスペイン展などで協会に親近感を覚え、この度入会しました。よろしくお願ひします

## 佐久間 美希 (Miki Sakuma) 横浜市神奈川区在住 2015年10月入会

はじめまして。スペイン語との出会いははじめて友達になった外国の方がスペインの方で、それがきっかけでスペイン語を習い始めました。以来多忙な日々を追われ長らく中断していましたが結婚を機に横浜に移住しこちらの協会をホームページで拝見し、今年の6月よりスペイン語のクラスに参加させていただいておりました。スペイン語以外にも興味深いイベントもあり、この度入会させていただくことになりました。皆さまどうぞよろしくお願ひ致します。

### <<賛助会員各社の会員サービス内容>>

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より表記のサービスが受けられます。

賛助会員	住所	☎番号	会員サービス
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア1杯無料
Bar Español	横浜市中区相生町2-43-2	045-651-1074	サングリア1杯無料
カサ・デ・フジモリ目黒店	東京都品川区上大崎2-16-3	03-5420-5328	サングリア1杯無料
アトリエ フレア Atlier Flair	鎌倉市大船2-17-8 中島ビル3F	0467-42-8531	押し花体験費用割引
スペインバル ボデガ・デ・サリア	東京都港区台場2-2-1 ザ・クルーズ・ダイアネックスホール1F	03-5531-2151	生ビール一杯無料

#### <編集後記>

昨年は創立25周年記念号として、Vol 1.2 特別号を発行。皆様のご協力により素晴らしい会報が出来上がり、多くの方から評価を頂きました。本年度は、AIYES 通信というこの会報が協会広報活動の最重要ツールとして使われるよう、単なるイベントの紹介に終わらず、会員の皆様の声を反映させた記事に多くの紙面を割いて行きたいと思っております。(下山利明)

編集委員 石井加奈弘 白井慎一 古賀恵子 桜田ゆみ 下山利明 武菱邦夫 福長昭代 真木幸子 山崎宗城

\* 投稿寄稿宛先 〒247-0056 鎌倉市大船 1709-18  
横浜スペイン協会 URL <http://www.yokohama-spain.jp>

今回の原稿締切は  
**3月15日(火)です。**  
投稿は800字以内、写真をお付け下さい